

『気持ちのよいあいさつをしよう』

1. 展開案

過程	学習活動	教師のはたらきかけ	留意すること
わかる	<p>1. 本時の目標を知る。</p>	<p>○今日は、挨拶について学習します。みんなの前で発表してもらったり、練習したりすることがありますが、ふざけたり恥ずかしがったりせずに積極的に取り組みましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ふざけない ・恥ずかしがらない </div> <p>○どんなときに挨拶をしていますか。</p> <p>○どういう人に挨拶をしますか。</p> <p>○なぜ、挨拶が必要だと思いますか。</p> <p>○挨拶はコミュニケーションのきっかけになり、人間関係を円滑にします。今日は、相手との関係作りに必要な気持ちのよいあいさつの仕方を練習しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールが必要な理由を添えて説明する。 ・先生や友達に会ったとき、職員室や事務室に入るとき、帰るときなど ・家族、友達、先輩、先生、来客など ・コミュニケーションのため、良好な人間関係を保つためなど ・挨拶はコミュニケーションの手段であり、人間関係を深めることができることに気付かせる。
<p>気持ちのよいあいさつの仕方を練習しよう</p>			
やっ	<p>2. モデリングを見てあいさつのポイントを知る。</p> <p>【モデリング】</p> <p>I うつむいたまま、小さな声で</p> <p>II ポイントを意識して</p>	<p>○これから2つの挨拶の場面を行います。どちらの挨拶の、どのようところがよいか考えながら見てください。</p> <p>○どちらの挨拶の仕方がよかったですか。また、どのようところが良かったと思いますか。</p> <p>○気持ちのよい挨拶のポイントをまとめてみましょう。最初に相手の方を見ます。できれば体から相手の方を向くといいですね。そして笑顔で、相手に聞こえる声で挨拶をします。そのときには会釈もします。挨拶をすることで、相手に対して「あなたの存在に気付きましたよ」というメッセージも含まれています。挨拶をされた方も同じように挨拶をしましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【あいさつのポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔で ・相手を見て ・大きな声で ・お辞儀(会釈)をする </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師と生徒または生徒同士で役割を演じる。 ※モデリングシナリオ参照 ・挨拶をされたときの気持ちにどんな違いがあったか「先生役」に聴く。 ・ワークシートを配布し、ポイントを記入させる。 ・お辞儀(会釈・敬礼・最敬礼)の説明をする。 ※ワークシート参照
やっ	<p>3. 挨拶のポイントに気を付けながら練習</p>	<p>○これから練習をします。3人グループを作り、「生徒役」「先生役」「観察役」を決めてく</p>	<p>※ワークシート参照</p>

<p>て み る</p>	<p>①をする。</p> <p>4. 練習①を振り返る。</p> <p>5. あいさつのポイントに気を付けながら練習②をする。</p> <p>6. 練習②を振り返る。</p> <p>7. あいさつのポイントに気を付けながら練習③をする。</p> <p>8. 練習②を振り返る。</p>	<p>ださい。</p> <p>○役割が決まったら、挨拶のポイントに気を付けながら練習①をしてください。</p> <p>○1回に練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交代しながら、全ての役を練習してください。</p> <p>○全ての役の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p> <p>○4つのポイント以外で、よかったところを紹介してください。</p> <p>○次は「来校者に対するあいさつ」を練習します。ワークシートの挨拶の部分をグループで考えましょう。</p> <p>○グループで「生徒役」「来校者役」「観察役」を決めて練習してください。</p> <p>○4つのポイント以外のポイントを加えてもいいです。</p> <p>○1回の練習が終わったら「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交代しながら、全ての役割を練習してください。</p> <p>○全ての役割の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p> <p>○練習③では、「インターンシップ中の職場の方へのあいさつ」を練習します。ワークシートの挨拶の部分をグループで考えましょう。</p> <p>○グループで「生徒役」「担当者役」「観察役」を決めて練習してください。</p> <p>○1回の練習が終わったら、「観察役」はよかったところを伝えてください。</p> <p>○役割を交代しながら、全ての役割を練習してください。</p> <p>○すべての役の練習が終わったら、それぞれワークシートに自己評価をしてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各グループの活動を観察し、必要に応じてアドバイスをする。 「観察者」は、ポイントを押さえて挨拶ができているかなどに気を付けて観察するように促す。 ポイントを自己評価させる。 数グループに発表させ、その都度褒める。 <p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> 適切な挨拶を考えることができるようにアドバイスをする。 新たなポイントはワークシートに記入させる。 「観察役」は、ポイントを押さえて挨拶ができているかに気を付けて観察するように促す。 ポイントを自己評価させる。 <p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ワークシートの『ビジネスでのあいさつ』を参考にして考えさせる。 「観察役」は、ポイントを押さえて挨拶ができているかに気を付けて観察するように促す。 ポイントを自己評価させる。
<p>ふ り か え る</p>	<p>9. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の学習を振り返って、ワークシートに記入してください。</p> <p>○日常場面ではその場に応じて、また、相手によって表情や言葉、声の大きさを変える必要があります。挨拶の仕方でも相手との関係がより深まる場合があります。普段の生活の中で、実際に気持ちのよい挨拶をやってみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートを回収し、数人の感想を紹介する。 挨拶のスキルの意義を押さえ、定着化の取り組みにつなげる。

モデリングシナリオ

場面設定

朝、生徒が廊下で先生と出会った場面。

モデリングⅠ

生徒…廊下で先生と会ったが、先生をちらっと見て、顔を伏せる。

先生とすれ違う時、先生から挨拶をされ、小さな声で挨拶を返す。

先生…挨拶をする。

生徒：（廊下で先生を見かけ、顔を伏せて通り過ぎようとする。）

先生：「〇〇さん、おはよう。」

生徒：（顔を伏せたまま、小さな声で）「おはようございます。」（行ってしまう。）

モデリングⅡ

生徒…廊下で先生と出会い、挨拶をする。

先生…挨拶を返す。

生徒：（廊下で先生を見かけ、すれ違うときに、笑顔で、大きな声で）

「おはようございます。」

先生：（生徒の方を見て）「〇〇さん、おはよう。」

3. 活用場面のアレンジ例

「①あいさつ」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

朝、会ったとき

廊下ですれ違ったとき

授業で始めと終わりにあいさつをするとき

給食・掃除の始めと終わりのあいさつをするとき

部屋（教室・職員室・事務室・保健室・部室など）に入るとき

帰りに会ったとき

修学旅行や宿泊研修で外部の方にあつたとき

部活動で先輩後輩に会ったとき

部活動の始めと終わりのあいさつのとき

部活動で大会や練習試合に行ったとき

就職や進学面接試験のとき

職場体験やインターンシップのとき